



ゆすりはたより

令和7年9月1日(月)

9月号

調布市立飛田給小学校

<https://www.chofu-schools.jp/tobitakyu-syo>
tobitakyu-sho@chofu-schools.jp

健康な心と体で、子どもたちが伸び伸びと成長する2学期に

校長 松田 隆

学校に子どもたちの笑顔と元気な声が戻ってきました。何よりもまず、夏季休業期間中に大きな事故やトラブルがなく、皆で2学期始業式を迎えられたことに安堵しました。と同時に、わずかひと月でぐっと成長した子どもたちの表情に驚かされました。

この夏休み、子どもたちはそれぞれの大切な時間を過ごしたことでしょう。旅行を楽しんだ子、ご親戚や友達との再会を懐かしんだ子、自由研究に打ち込んだ子、進学に向けて勉強に励んだ子など、過ごし方は様々だったでしょうが、学校ではできない様々な体験を通して、2学期に向けての活力が蓄えられたに違いありません。

一方では、「猛暑」よりもさらに厳しさを表す「酷暑」という言葉が当たり前に使われた、暑い暑い夏でした。雨が降らず、水不足が心配されたかと思えば、局所的な豪雨によって大きな被害が出ました。また、生態系にも影響が出ており、高温による野菜の生育不良、外来生物、植物の大繁殖による農作物への被害、ブリが北上して北海道で豊漁、など、様々なニュースが伝えられています。この変化があまりに急激なペースで年々進んでいること、やはり心配です。子どもたちにも関心をもってほしいと思います。

今年度は、調布市全体の取組として、2学期開始前の子どもたちの不安に気付くため、夏季休業期間中に「こころの健康観察」を行いました。ご家庭でのお子様への声掛け、ありがとうございます。子どもたち一人一人の心の状態に寄り添いながら、学校生活のリズムを取り戻していきます。

いよいよ始まった2学期は、1、2年生の多摩動物公園遠足、6年生の日光移動教室、学習発表会、社会科見学など、多くの行事があります。そして今年度は、10月24日(金)に開校50周年記念式典があり、5、6年生が参列します。行事を通して、子どもたちは集団の中での自己の役割を果たしながら、仲間と共に成功体験を重ねていきます。熱中症対策、台風などの風水害対策、基本的な感染症予防対策など、健康・安全を守る取組を徹底した上で、子どもたちの成長を支えていきます。変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

【夏休み明けの学校生活について】

生活指導主任

◆安心して学校生活に戻れるように◆

夏休みが明け、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。長い休みのあとは、心と体のリズムを整えながら、少しずつ学校生活に慣れていく時期です。ご家庭でも見守りと声かけを引き続きよろしくお願いいたします。朝は、決まった時間に起きて朝ごはんをしっかり食べ、余裕をもって登校できるよう、休み明けの生活のリズムづくりを意識していきたいものです。学校へは8時15分に入ることができます。登校時刻に余裕をもち、学校での一日のスタートをスムーズにできるよう生活リズムを整えていけるように声をかけていきたいです。また、登下校中の安全についても、改めてご家庭で確認をお願いします。道路の歩き方や交差点での注意、自転車のルール、通学路での不審者対応など、ご家族で話題にいただくことが安全につながります。

9月にかけてまだまだ暑い日が続くことが予想されます。熱中症の予防として、水筒の持参や登下校時の帽子の着用などについて、引き続きご配慮をお願いいたします。学校でも、こまめな水分補給の声かけや体調観察を行ってまいります。夏の疲れが出やすい時期ですので、体調面や気持ちの面で不安な様子がありましたら、無理をせず早めに学校へご相談ください。久しぶりに会う友達との距離感に戸惑ったり、関係づくりに不安を感じたりする子もいます。ご家庭と連携しながら、子どもたちが安心して過ごせるよう2学期も支援してまいります。気になることがありましたら、遠慮なくご相談ください。